

バス産業勉強会の視点(切り口の例示)

①経営戦略

- ・バス会社はどのような戦略の下で経営を行っているのか。その課題は何か。
- ・バスの子会社戦略はどのように考えているか。その課題は何か。

②経営資源

- ・運転手の年収や年齢はどうなっているか。要員確保は困っていないか。
- ・車両の車齢構成はどうなっているか。どのような車両を導入するのが望ましいのか。中古車はどの程度購入しているか。
- ・管理部門や整備の要員はどうなっているか。

③路線・便数・輸送力の決定の考え方

- ・どのような路線が黒字で、どのような路線が赤字となっているか。
- ・どのような戦略の下、路線・系統、便数・ダイヤを設定しているのか。
- ・赤字路線であっても維持する理由や事情は何か。
- ・自治体の助成の現状や今後の見通しはどうなっているか。
- ・公的助成や路線改廃手続きについて、問題点は何か。
- ・他の会社との競争戦略は、どのように考えているのか。
- ・どのように利用者ニーズを把握しているか。
- ・病院・スーパー等の施設をどのように捉えているのか。

バス産業勉強会の視点(切り口の例示)

④運賃水準の決定の考え方

- ・運賃はどのような考え方の下で決定しているのか。
- ・現在の運賃水準について、会社はどう考えているか。
- ・赤字であっても運賃値上げをしない場合、その理由は何か。
- ・現在の上限認可制について改善して欲しい点は何か。

⑤収支構造

- ・バス会社の収益構造(兼業部門、補助金等を含む)はどうか。
- ・バス会社のコスト構造はどうか。
- ・バス会社の資金調達の状況(調達先、時期等)はどうか。
- ・バス事業の収益水準を会社はどのように認識しているのか。
- ・バス事業の収支改善に向け、どのような経営努力をしているか。
- ・バス事業が赤字であっても維持する理由は何か。
- ・バス事業を黒字としている会社の成功理由は何か。
- ・需要喚起・集客策として何を行っているか。

⑥他産業との比較

- ・バス産業やバス会社の特徴はどのようなものか。
- ・関連・グループ会社を含めた経営戦略はどのように考えているか。
- ・他産業と比べ、バス産業・会社の優れている点、劣っている点は何か。

バス産業勉強会の視点(切り口の例示)

⑦都市と地方

- ・収益性の高い都市部でバス事業を行っている高コスト公営事業者について、どう考えるか。
- ・コミュニティバスと競合する場合はあるか。その場合、どう考えるか。
- ・自治体が運営するバスの運行受委託の現状はどうなっているか。その課題は何か。

⑧バス産業と行政

- ・事業行政、道路交通行政、社会資本行政、観光行政、労働行政、まちづくり行政といった様々な行政との関わりがあるが、それをどのように考えるべきか。